

アトリエひでりこ月刊号 と 各号ストック

2月号

- ① 縄文土器 ② 真冬の見沼田んぼで見つけた ③ 各号ストック

① 縄文土器 縄文遺跡を世界遺産に

さいたま市には、縄文の遺跡が多くあり、私宅の近くにもあることは知っていたのですが、見学に向き縄文の魅力を知ることになりました。13年1月末、有楽町で青森、秋田、岩手、北海道にある縄文遺跡を世界遺産にという上記道県によるセミナーが開催され参加しました。

1万数千年に及ぶ時空の中で展開されてきた文化が、この地には色濃く遺っているとのことです。



マークは東北と北海道南部を繋いだデザイン

●は、遺跡の場所

有名な遮光土器



縄文時代に使われた漆塗りの道具類、驚きです。

なぜ北海道・北東北なのか？

- 列島の中で先駆けて定住化が促進するとともに、円筒土器文化や亀ヶ岡文化など他地域へも大きな影響を与えた、縄文文化を代表する文化の中心地域。
- 縄文時代を彷彿とさせる植生や地形など景観が保全されている。
- 草創期から晩期まで縄文文化の変遷を物語る重要な遺跡が所在。
- 集落跡、貝塚、環状列石など縄文文化を代表する多彩な遺跡が所在。

② 真冬の見沼田んぼで見つけた自然の風景



氷に映る青空



生物界の掟？ 冬柿に雀が二羽・見つめあっています



花びらが蛾でできているような花、蠟梅



第一調整池 冬日の中でシラサギが眩しい